

第3回下見報告書

夏のつどい部

<実施概要>

日時：2023年7月15日（土）～16日（日） 22:00集合、22:30スタート、6:20ゴール

天候：晴

参加人数：89名（歩行57、バイク2、救護+同乗者5、休憩所13、本部4、救護本部2、広報3、東葛3）

<実施結果>

今回はできるだけ本番に近い運営を模擬して実施した。特に休憩所や救護車は、役割と流れを練習でき有用だった。一方で、運営の練習不足を感じる声もあり、ONH本番までの準備が重要。下見固有の事情であるコンビニでのトイレ小休止は、トイレが混み合うことを十分に想定しておくべき（来年要改善）。

【同行】

（検証1）布施セブンイレブン迂回ルート検証

- 今回の初ルートだが、道幅や車の通行面では安全であることが確認できた。このルートを本番のルートとすることで問題ないと考えられる。
- 一部、セブン裏の道の側溝の蓋1箇所が割れていて足が挟まると危険、という報告があった。該当箇所を改めて本番前に確認し、現地での対処要否検討（コーン設置など）や同行全員への周知が必要。
-

（検証2）救護対応の練習

- 土手入口にて隊列を止め、救護の実演を行って同行者全員が救護車要請の仕方を練習した。わかりやすかった、初めてのメンバーでも本番でスムーズにできそう、という感想あり。

（その他）

- 二方向渡しは、2箇所目（市柏後）が少し戸惑いやすい。同行は分科会資料で該当箇所を再確認すべき。
- 住宅街で静かにするエリアや逆に騒いでも大丈夫なエリアを改めて把握しておきたいという意見あり。
- 東葛の生徒や誘導の方が元気に手を振ってくれて、歩いている人もとても元気をもらえてよかった。

【休憩所】

（検証1）休憩所オペレーションの確認（到着・出発受付の流れ、本部との連絡）

- 人数を増やして本番と同等の役割分担を行い、運営の練習が一通りできたのは大きな収穫。
- 一方で、まだ練習出来ていない要素（設営や配置）もあり、不安の声もあった。本番までの準備が重要。
- 同行から、到着点呼後にいつ休憩に入って良いかがわかりづらかったという声あり。

（その他）

- 今回は休憩所を本番と同じ場所（富勢東小・市柏高・十余二小）としたが、下見固有の事情としてトイレ確保のため、布施セブンと東大セブンでトイレ休憩を行った。長蛇の列となり想定よりも多くの時間をとった。下見固有の事情だが、あらかじめ想定できていなかった点は、来年要改善。
- 賛助会からの差し入れで、ゴールでの冷たい飲み物提供の練習ができた。適度に冷えていて良かった。

【バイク】

- 人数が非常に少なかったが、概ね問題なく運営練習ができた。

【救護本部・救護車】

- 本番の担当者の多くが参加し、実際の流れを確認できて非常に有用だった。

【本部】

- 概ね問題なく運営練習ができた。
- トランシーバーアプリは情報共有しやすく非常に有用。一方で、今回は時々音飛びする 때가あった。致命的ではないが、原因は不明。

【その他】

- 土手沿いの草が伸びていたのが気になった。一部は大人の背まで伸びていて歩きづらい箇所があった。
- お役立ちグッズの報告
 - 全体会で紹介されたテーピング（痛みが出づらい、回復が早いという声多数）
 - 帽子（日差しが気になるCグループは特に）
 - ペットボトル2本以上（暑くなってきたため1本では不足）
 - 塩分タブレット（熱中症・足のつり対策）

- 小さい保冷バッグ＋保冷剤（適度に冷えているとリフレッシュする。冷えすぎは注意）
- 冷感グッズ（首周りの冷感タオルなど）
- 痒み止め（虫刺されが多いので）